

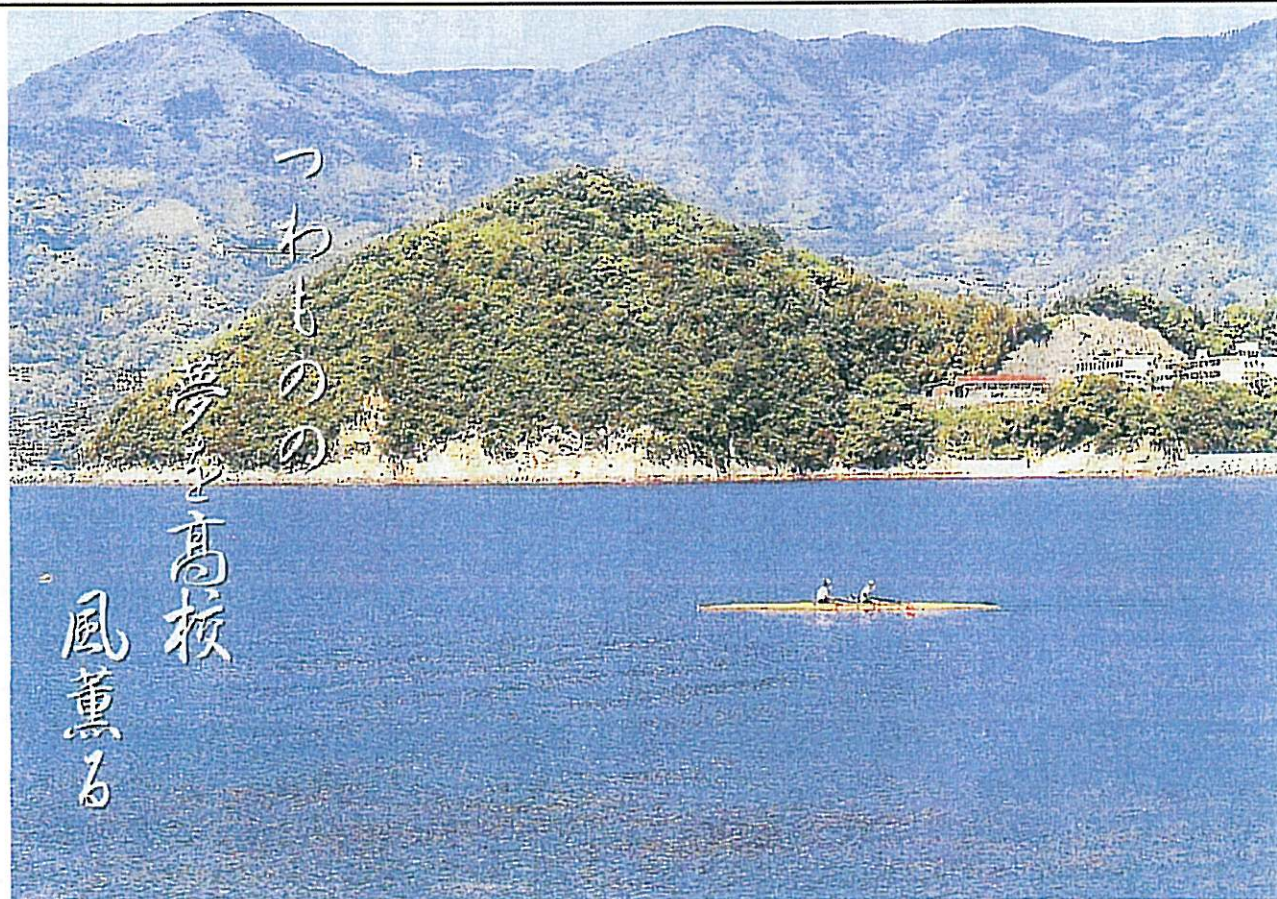
安下庄高等学校東京同窓会会報

第2号

甲山

平成17年7月30日発行
発行人 尼崎和也
編集人 中田正美/木谷典子
監修 濱西捷平
事務局 安下庄高校東京同窓会
住所 〒300-1536
茨城県取手市光風台3-11-3
TEL/FAX 0297-83-1080
E-mail:sm_hamanishi @ybb.ne.jp

3代目会長・川崎久美氏揮毫



母校の良き伝統に感激



安下庄高等学校
東京同窓会
会長 尼崎和也

会員の皆さまには益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。昨年の安下庄高等学校東京同窓会では、多数のご出席をいただき厚く御礼申し上げます。

を受け、少々驚きました。が態度、所作などは実に純朴でノビノビしており、母校の良き伝統が残っていることに感激してまいりました。

東京地域に限らず名古屋、大阪、広島、九州と全国各地より、お集まりいただき最近では、例を見ない大盛況裡に終わることができました。改めて感謝申し上げます。

過疎化の波は止められず、定員が今年八〇名から七〇名となり減少傾向は否めません。しかしながら自然豊かな環境の中で、人生にとって最も大切な高校（青春）時代を過ごせる安下庄高等学校は貴重な存在です。

さて、先日帰郷の折りに母校を散策して参りました。往時ホウバで歩いた坂道を息急切つて登ると眼下に波静かな安下庄湾が眺望され、緑豊かな「甲の山」のふとこほに抱かれた中で、暫し自分の高校時代に想いを馳せておりました。

掛替えのない母校を守り育てるため東京同窓会は、母校及び同窓会本部との情報交換を蜜にし、連携を増々強くする所存です。

途中、多くの在校生に礼儀正しい挨拶

が、東京同窓会に対し会員皆様の限りなご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

総会は9月24日(土)、東京・市ヶ谷のホテルグランドヒルで開催します

話 題 の ボ ッ ク ス

濱西節郎・前会長が叙勲



昨春秋の叙勲で東京同窓会前会長の濱西節郎氏(5期生)が旭日双光章を受章された。会員一同で祝福したい。多摩町議を振り出しに同市議、都会議員と十八年の議員活動で「地方自治功労」で受賞、十一月五日、石原慎太郎・都知事より勲記、勲章の伝達を夫人同伴で受けたあと皇居に参内、春秋の間で天皇陛下に拝謁して「おことば」を賜った。五月七日、多摩京王プラザで叙勲祝賀会が開かれ韓国からは感謝牌が届いた。

東京都下の日野、多摩、稲城3市の有志によって昭和五十五年、韓国に桜の苗木を寄贈した人たちが濱西さんを桜大使(团长)とした一行が四月八日から四日間、韓国を訪問、二十五年ぶりに、立派に成長した桜並木に再会、「わが息子にあったような想い」と濱西大使は、日韓親善に役立っていることに感激した。

桜の寄贈は、韓国国会の完成を記念して当時千本の苗木を植樹した韓国の国会周辺と漢江川畔は、いまではソウルの名所にもなり日曜日や祝日には歩行者天国として賑わう。尼崎・同窓会長も同行した。桜大使一行を迎えた韓日親善中央会(韓国国会議長)の金守漢氏は「桜の寄贈は当時は金を贈られた気持ち」と感激、「いつの日か濱西氏の牌

帝国ホテルで歯科医開業

世界屈指の帝国ホテル・プラザ4階で審美歯科及び予防歯科の専門「クリニクデューボワ」をオープン、活躍して



総勢45人が参加した桜大使一行

を韓国内に建立したい」と敬意を表してくれた。



いるのが正分出身の中原悦夫氏(高30期生)Ⅱ写真上。実家の歯科医で育った中原氏は五歳の時に「歯科医師になる」ことを夢見た天性の持ち主。日本歯科大を卒業後はアメリカに留学、「世界水準の医療技術を東京でも受けられる施設」を確立した。「日本の医療は進んでいるが臨床では遅れている。国に頼らない歯科医療」を実現した医師としての人望も高い。修復作業を繰り返す治療でなく、「世界は」予防治療が主流。「歯の美容とケアに力を入れたい」として、リラクゼーションなどの分野にも進出、新時代期待の星だ。

母校はいま

八十余年の伝統と歴史を持つ母校には現在198人の生徒が学んでいる。今年春には67人が卒業、大正十二年の創立以来、母校卒業生は1万148人となった。

中学・高校を連携して六年間の一貫教育を行う「中高一貫教育」を導入、平成十三年度から実施、このほど報告書も作成された。「豊かな自然環境の中で一人ひとりの夢を実現する学校づくり」を基本コンセプトに掲げての教育指導を展開する。

安下庄中学・日良居中学・東和中学と母校が連携した「橘・東和地域連携型中高一貫教育」は、連携中学の生徒は学力検査や調査書

を用いず、面接や小論文等による簡便な方法で母校に入校できる。

中学校の教員が高校で、高校の教員が中学校で、それぞれティーム・ティーチング(TIT)を中心とした授業を行ったり、将来の夢の実現をめざし六年間を通して英語検定、簿記検定など各種資格を取得できる指導を行う。

一方、行事としては、私の主張発表大会やハワイ州との交流、ふれあいみかん収穫などを中学生、高校生が合同参加して行う。

母校では「中高一貫教育」の制度を盛り込んだ「学校案内」Ⅱ写真/平成17年版Ⅱを発行。内容を見ると1年生は全員が同じ教科・科目を学習するが、2年生からは、興味・関心や進路希望によってプラティカルコース、アカデミックコースのいずれかを選択できる。平成四年からは母校の姉妹都市ハワイカウアイ島への修学旅行もあり充実した教育を実施する。

豊かな自然環境の中で一人ひとりの夢の実現をめざします。山回立安下庄高等学校。TEL: 0820-37-1043 FAX: 0820-37-0607